

11月1日現在（前月との比較）	
世帯数	64,269世帯（83世帯増）
人口	131,220人（22人減）
（男）	65,905人（12人増）
（女）	65,315人（34人減）

新型コロナウイルスワクチン 3回目追加接種のお知らせ

接種費無料

問い合わせ 新型コロナウイルスワクチン接種担当☎0120-840-085（青梅市コールセンター）

新型コロナウイルスワクチン3回目追加接種について国から方針が示されました。（11月24日時点の情報です。最新の情報は、随時更新しますので、市ホームページ・記事ID…53108をご覧ください。）

対象 2回目の接種完了から8か月以上経過した18歳以上の方

接種券、予診票の送付 2回目の接種が完了した順に、月ごとに発送予定

接種開始時期 令和4年1月下旬

※令和4年1月に接種を受けられる方は、令和3年5月までに2回目の接種を終えた方です。

接種方法 集団接種または個別接種のいずれか

会場

▷集団接種…福祉センター、住友金属鉱山アリーナ青梅（第2スポーツホール）

▷個別接種…実施医療機関は別途お知らせします。

予約方法 インターネット、コールセンター、窓口での予約を予定しています。

※接種には予約が必要です。詳細は、接種券同封の案内をご覧ください。



◁新型コロナウイルスワクチン市ホームページ二次元コード



令和3年3月～4月に2回目の接種を終えた医療従事者の方へ

医療従事者の方へ11月下旬に接種券および予診票を発送しました。

届いていない方は、市コールセンター☎0120-840-085にご連絡ください。その際、接種履歴を確認するため、お手元に1回目、2回目接種の際の接種済み証を用意してください。

接種はお済ですか？

3回目の接種を受けるためには、2回の接種を完了している必要があります。まだ接種をしていない方で、希望する方は、右記の日程で接種を実施しますので、3回目の接種開始前に予約することをお勧めします。

日程	会場・時間
12月4日（土）	福祉センター・午後3時～6時 ※要予約（インターネット、コールセンター）
11日（土）	
18日（土）	
25日（土）	
1月8日（土）	
15日（土）	

低所得の子育て世帯生活支援特別給付金（令和3年5月から支給中）

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、子育て世帯生活支援特別給付金を支給しています。

詳細 市ホームページ参照

▷ひとり親世帯（児童扶養手当受給世帯）の方…記事ID・33268

▷ひとり親世帯以外の方…記事ID・35881

※18歳以下を対象とした新たな給付金については、広報おうめ12月15日号等でお知らせします。

問い合わせ 子育て推進課助成係、新型コロナウイルス感染症対策子育て世帯給付金担当

新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力をお願いします

第6波に備え、以下のことに注意しましょう。

◆新型コロナウイルス感染症は、症状が出る前からウイルス量が増え、周りの方に感染させてしまう可能性がありますので、日頃から感染予防を行い、症状が出たら主治医に電話で相談することが大切です。

◆感染予防のために、ワクチン接種や予防対策（マスク着用、距離をとる、換気する、手指衛生、3密回避）は効果があります。室内では十分に換気をして、新鮮な空気を取り入れましょう。



問い合わせ 健康センター☎23-2191

青梅市医師会健康コラム83
新型コロナウイルス感染症とワクチンの妊娠・授乳への影響について、妊娠中、授乳中の方も安心してワクチンを受けてください。

青梅市立総合病院産婦人科部長 伊田 勉

新型コロナウイルスの流行の中、妊娠中・授乳中の方や妊娠を考えている方には色々な心配があると思います。今回は妊娠中の新型コロナウイルス感染とワクチン接種についてお話ししたいと思います。

新型コロナウイルスの感染は、吸入が必要となる方は2割以下です。赤ちゃんへの感染はまれで、ウイルスが赤ちゃんに異常を起す可能性も低いと考えられています。妊娠中、授乳中、感染する場合、約8割が家族からの感染です。ワクチン接種が重要で、家族の感染予防やワクチン接種が重要です。ワクチン接種した妊婦さんは重症化しにくいので、妊娠中の方にもワクチン接種が勧められています。現在まで世界中で多くの妊婦さんがワクチンを受けていますが、妊娠や赤ちゃんへの悪影響はないと考えられています。お母さんがワクチンを受けていると、胎盤や母乳を通じて赤ちゃんにも免疫が届くので、赤ちゃんを感染から守る効果も期待されています。

妊娠中のどの時期の方でも安心してワクチンを受けてください。また、ワクチンによって不妊になるという科学的根拠は全くありません。将来妊娠を考えている方も安心して受けてください。信頼できる情報源として、厚生労働省、国立成育医療センター、日本産科婦人科学会などのホームページに詳しい解説がありますので、ぜひ見てください。